

令和元年度 施策評価シート

基本目標		「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	120	すみだの多彩な魅力を内外に発信し、成熟した国際観光都市をつくる
施策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる
施策の目標	さまざまな媒体からすみだの魅力が発信され、これまで以上に国内外から多くの人が「国際観光都市すみだ」にあこがれ、訪れています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指 標 名	墨田区観光協会のホームページ年間訪問者数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					335,000人					350,000人
実績	230,000人	290,365人	281,443人							
指 標 名	区内を訪れる観光客数（観光関連施設入込客数及びイベント入込客数）									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					9,800,000人					10,000,000人
実績	9,175,663人	8,020,055人	8,211,870人							

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
インターネットにおける情報発信については、平成28年4月に区の観光情報サイト(ウエルカムすみだ)を閉鎖して、墨田区観光協会のホームページに一本化することで、効率化及び利便性の改善が図られ、アクセス数が増加した。今後も利用者が必要な情報をすぐ取得できるよう見直しを随時行い、更なる利便性の向上を図る。 区内を訪れる観光客数については、平成28年11月に開館した北斎美術館、平成30年1月に開館した刀剣博物館の活用や近隣区との連携イベントを中心として、更なる増加を目指す(江戸東京博物館の休館の影響により、平成29年度は一時的に入込客数が減少した)。	H28	53,766
	H29	48,464
	H30	51,102

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	区内の観光関連施設入込客数は、東京スカイツリー開館以降、高水準を保っているが、別事業との統合なども含め効果的な施策展開を検討していく必要がある。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
○	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
東京スカイツリーによる経済波及効果を区内全体の産業活性化に結び付ける上で、観光施策の推進は、本区における最重要テーマである。すみだの魅力を発信し、訪れたいまちをつくるために、より効率的な運営を図る必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
平成27年4月に改定した観光振興プランに基づき、更なる観光プロモーションの推進を図るとともに、産業と観光の融合、水都すみだの再生及び東京オリンピック・パラリンピックを見据えた海外向けの情報発信の強化や受入体制の構築など、積極的に推進していく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 出 総 額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	直近の評価内容
						年度目標値	評価結果
						年度実績値	評価対象年度
1	観光プロモーション (観光プロモーションの強化 含む)	21,444	14,765	36,209		9,500,000	改善・見直し
						8,211,870	平成30年度
2	外国人観光客受入整備事業	2,700	7,875	10,575		18,000	改善・見直し
						18,000	平成30年度
3	一般向け観光情報発信事業	21,050	7,875	28,925		750,000	改善・見直し
						681,842	平成30年度
4	広域連携事業 (台東区連携協定等)	5,908	3,937	9,845		10600	現状維持
						12486	平成30年度
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

令和元年度 事務事業評価シート

施 策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる				部内優先順位
事 業 名	観光プロモーション事業（観光プロモーション強化 含む）					1
目 的	「国際観光都市すみだ」の実現に向け、本区の魅力を国内外へ発信し、誘客及び区内回遊を促進する。					主管課・係（担当）
						観光課観光担当
						03-5608-6500
対 象 者	区内外からの観光客及び観光関係事業者					
根拠法令 関連計画	墨田区観光振興プラン					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2人 委託先	一般社団法人墨田区観光協会
事業内容	1 観光プロモーション活動 観光誘客イベント・商談会に参加し、来場者へ本区のPRを実施する。 東京トラベルマート/近畿日本ツーリスト大商談会/ツーリズムEXPO/江東区民まつり/台東区ふるさとPRフェスタ 東京マラソンEXPO/都庁情報コーナーPRイベント等 2 修学旅行生誘致 東武タワースカイツリー社と連携し、地方の学校及び旅行会社を対象とした本区の観光素材説明会を開催し、修学旅行生の誘致活動を行う。 3 誘客イベント等実施 (1)納涼のタベ (2)墨堤さくらまつり (3)観光誘客ポスター制作					
経 過		平成21年度	終了予定		平成30年度	
	平成21年度 墨田区観光協会と連携して実施 平成22年度 区外での積極的なシティセールスを行うため、東武タワースカイツリー社や東京観光財団、周辺区等とも連携を図り、墨田区のシティセールスを開始 平成31年度 観光課内の事業は、広義には全て観光プロモーションであると捉え、観光プロモーション事業及び観光プロモーションの強化内に予算計上していた個別の取組を他の細目に統合し、観光プロモーション事業としての細目は廃止した。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		18,627	27,617	28,963	27,297	22,118	
決算額（令和元年度は見込み）		18,611	27,485	27,572	25,165	21,444	
財源	国						
	都						
	その他			1,175	2,140	1,750	
一般財源		18,611	27,485	26,397	23,025	19,694	0
執行率（％）		99.9%	99.5%	95.2%	92.2%	97.0%	#DIV/0!

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	イベント等	23,373	委託料	イベント等	18,878			
役務費	さくらまつり経費	233	役務費	さくらまつり経費	230			
使用料	さくらまつり経費	271	使用料	さくらまつり経費	423			
管外旅費	下町創成協議会	538	管外旅費	訪日プロモーション	13			
負担金	下町創成協議会	750	負担金	下町創成協議会等	1,900			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	観光プロモーション及びエージェンツセールスの実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		50	30	目標	50	50	50	
				実績	55	42	28	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	直接的なPR活動によって、観光客の動向、反応を収集することが出来、それをさらに検証することにより、効果的な誘客を推進できる。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	区内を訪れる観光客数 (観光関連施設入込客数及びイベント入客数)				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		9,500,000	30	目標	9,100,000	9,300,000	9,500,000	
				実績	9,175,663	8,142,160	8,211,870	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	PR活動に対する直接的な効果を測定することが困難であることから、墨田区基本計画の施策121の成果をはかる指標である観光関連施設入込客数及びイベント入客数に選定した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
統合や縮小を検討	観光課内の事業は、広義には全て観光プロモーションとしての目的を含むことから、観光プロモーション事業及び観光プロモーションの強化内に予算計上していた個別の取組を他の細目に統合し、観光プロモーション事業としての細目は、30年度をもって廃止した。

課題・問題点
観光プロモーションの実施に当たっては、効果測定が困難であることが課題としてあるが、費用対効果及び人工の意識を持ち、効率的・効果的に取組む必要がある。

施 策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる				部内優先順位
事 業 名	外国人観光客受入整備事業					2
目 的	東京スカイツリーの開業及び2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定により、外国人観光客は年々増加している。これらの外国人観光客をおもてなしのところで迎えるための整備を行い、国際観光都市を目指す。					主管課・係（担当）
						観光課観光担当
						03-5608-6931
対 象 者	外国人観光客					
根拠法令 関連計画	観光振興プラン					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	委託先：一般社団法人墨田区観光協会	
事業内容	東京スカイツリーの開業と2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定により、外国人観光客は年々増加している。訪れた外国人観光客の受入環境を整備し、国際観光都市として更に広く世界に情報発信していく。 ・外国人観光客向けモバイルWi-Fiルーター無料貸出 ・多言語観光案内冊子制作					
経 過	開始年度		終了予定			
	平成26年度 ・区内観光案内所へのフリーWi-Fi設置 ・多言語観光案内冊子の制作委託 ・外国人観光客向けモバイルWi-Fiルーター無料貸出開始 平成27年度 ・外国人観光客向けモバイルWi-Fiルーター無料貸出 平成28年度 ・外国人観光客向けモバイルWi-Fiルーター無料貸出 ・Wi-Fiルーター無料貸出PR事業 平成29年度 ・外国人観光客向けモバイルWi-Fiルーター無料貸出終了 ・多言語観光案内冊子の制作委託					
議会質問 の 状 況	平成27年 第4回定例会 多言語冊子の作成等外国人観光客受入環境整備について 平成28年 第4回定例会 多言語冊子の作成状況について ※観光案内版やトイレの多言語表記については、質問はあるものの、冊子については過去5年間に上記の質問のみ。					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		10,713	3,937	3,930	3,472	2,700	7,780
決算額（令和元年度は見込み）		10,530	3,876	3,112	3,151	2,700	7,780
財 源	国						
	都			1,471			
	その他			500	715	1,350	2,440
一般財源		10,530	3,876	1,141	2,436	1,350	5,340
執行率（％）		98.3%	98.5%	79.2%	90.8%	100.0%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	Wi-Fi貸出	3,086	委託料	冊子制作	2,700	委託料	冊子制作	6,780
	冊子制作	65				補助金・負担金	冊子制作	1,000

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	多言語冊子の種類				単位	種
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		10	R2	目標	5	6	7	8
				実績	5	6	7	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10					
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	PRの手段が観光案内冊子の制作のため、制作種類を指標とし、目標値は必要部数とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	多言語冊子の配布部数				単位	部
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		25000	R2	目標	13000	16000	18000	20000
				実績	13000	16000	18000	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	25000					
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	本事業の目的は、訪れる外国人観光客の案内性を高め、回遊性を向上させることであり、その基礎値としてはまず冊子が配布され情報が周知されていることが第一条件となるため。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	別事業の中に統合することで、事務事業の効率化を図るとともに、更に効果的な施策の展開を図る。

課題・問題点
インバウンド向けの観光案内や観光情報の発信方法については、広く速く正確にという観点から、費用対効果を加味し、より効果的な手法を検討していく必要がある。 観光交流人口を活用し、外国人と区民の交流の機会を増やし、日本人、外国人双方が尊重し合える「国際文化観光都市」をめざすための施策展開も検討していく必要がある。

施 策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる				部内優先順位
事 業 名	一般向け観光情報発信事業					3
目 的	区内の観光資源・観光素材の情報を効果的に発信・PRすることで、区の観光振興を図る。					主管課・係（担当）
						観光課観光担当
						03-5608-6500
対 象 者	墨田区及び観光サイトに訪れた観光客					
根拠法令 関連計画	墨田区観光振興プラン					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤1人 委託先	一般社団法人墨田区観光協会
事業内容	1 フィルムコミッションの運営 区内で行われるドラマ・CM等の撮影を支援し、マスメディアを活用した観光情報の発信を行う。 2 すみだ観光まる得ブック等の制作及び配布 観光情報等を掲載したフリーペーパー、マップ等を制作及び配布し、紙媒体を活用した観光情報の発信を行う。 3 WEBサイトを活用した観光情報発信 一般社団法人墨田区観光協会のHPを活用し、観光情報を掲載することにより、区内外に向けて、観光情報を発信する。					
経 過	開始年度	平成22年度	終了予定			
	平成22年度 ロケ支援の試行の実施 平成23年度 フィルムコミッション事業運営開始 まる得ブック第1号刊行 ～ 平成30年度 まる得ブック第8号刊行					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		23,416	21,984	21,104	21,462	21,345	22,556
決算額（令和元年度は見込み）		23,301	21,926	21,104	21,429	21,050	22,556
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		23,301	21,926	21,104	21,429	21,050	22,556
執行率（％）		99.5%	99.7%	100.0%	99.8%	98.6%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	冊子制作等	21,429	委託料	冊子制作等	21,050	委託料	冊子制作等	22,556

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	フィルムコミッション撮影支援件数(作品数)				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		50	R7	目標	35	35	40	40
				実績	65	32	39	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	40	45	45	45	50	50
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	撮影支援を行った件数を、情報発信の件数と捉え、指標を設定した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	墨田区観光協会HPのページビュー数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,000,000	R7	目標	700,000	750,000	750,000	800,000
				実績	658,381	731,842	681,842	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	800,000	850,000	850,000	900,000	950,000	1,000,000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	情報発信の結果、墨田区に興味を持った人の数を成果指標と考え、指標を墨田区観光協会のHPのアクセス数に設定した。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	観光客に来訪したいと為には、様々なニーズに沿った情報を、適当なアプローチで提供することで、まず観光客に観光情報を知っていただくことが重要であるため、今後も継続して情報発信に取り組んでいく必要がある。しかし、情報提供に当たっては、より発信力・拡散力の高い媒体・ツール等を検討する必要がある。

課題・問題点
冊子、WEB、SNS等、様々な情報発信の媒体・方法がある中で、“今、観光客に一番刺さる媒体・方法は何か？”について、観光客を中心としたトレンドを把握し、ベストなアプローチを検討する必要がある。

施 策	121	すみだの魅力を広く発信し、訪れたいまちをつくる				部内優先順位
事 業 名	広域連携事業(台東区連携協定等)					4
目 的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、他自治体と連携して効果的にプロモーション活動を実施することで、観光客の誘客及び回遊性の向上を図る。					主管課・係(担当)
						観光課観光担当
						03-5608-6500
対 象 者	観光客					
根拠法令 関連計画						
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	墨田区観光協会	
事業内容	30年度実施事業 1 明治150年記念事業「江戸を守った男たち」シンポジウム、バスガイドツアー 2 「池波正太郎が描いた江戸」巡りガイドツアー 3 墨田川両岸でのとうろう流し 4 隅田川両岸散策マップの更新 5 隅田川お花見マップの更新 令和元年実施事業(予定) 1 謎解き周遊イベント 2 江戸文化体験モニターツアー 3 墨田川両岸でのとうろう流し					
経 過	開始年度	平成30年度	終了予定		令和2年度	
	平成29年10月 東京都墨田区と東京都台東区との観光分野における連携に関する協定を締結 平成30年 上記事業を実施 令和元年 上記事業を実施予定					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)						6,000	15,781
決算額(令和元年度は見込み)						5,908	15,781
財 源	国						
	都						
	その他						5,000
一般財源		0	0	0	0	5,908	10,781
執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98.5%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
			委託料	合同事業実施経費	1,289	委託料	合同事業実施経費	14,269

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	合同実施事業の取組数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
			R2	目標			3	3
				実績			5	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3					
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	複数事業を実施し、さらなる観光誘客を図る必要があるため							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	合同実施事業への参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
			R2	目標			10600	
				実績			12486	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	観光誘客の指標となるため(年度ごとに実施内容が変わるため、最終目標値の設定はなし)							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	東京都墨田区と東京都台東区との観光分野における連携に関する協定に基づき、令和2年度までは合同事業を展開していく

課題・問題点
・単発のイベントに終わらないよう、継続的に波及効果のある事業を実施する必要がある。